

東町布袋車 大幕に関する資料 <文化9年(1812)製作>

瑞獣とは：中国では一般に四神（四大聖獣：朱雀・青龍・白虎・玄武）のこと

瑞獣の「瑞」の字は中国では「吉祥」「めでたい」という意味を表し、瑞獣は

吉祥獣と呼ばれ四霊－応竜・鳳凰・麒麟・霊亀を四大吉祥瑞獣と呼ぶ事がある。

※ 東町布袋車の大幕は、四神ではなく四霊が表されている。

四神－朱雀・青龍・(白虎)・玄武 の名称は使わず、縁起が良いとされる

吉祥獣の四霊－応竜・鳳凰・麒麟・霊亀の名称に統一使用する。



四霊（動物の長・四大吉祥瑞獣）

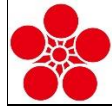
応龍（おうりゅう）… 変幻（立身出世のたとえで使われる）

鳳凰（ほうおう）… 平安（徳のある王が出現するとともに現れる）

麒麟（きりん）… 信義（王が仁徳のある政治を行うと現れる）

霊亀（れいき）… 吉凶を占い（長寿や繁栄の瑞祥といわれる）

応龍とは：『述異記』には、「泥水で育った蝮（マムシ）は五百年にして蛟（みづち・雨竜）となり、蛟は千年にして竜（成竜）となり、竜は五百年にして角竜となり、角竜は千年にして応竜（おうりゅう）になり、年老いた応竜は黄竜（こうりゅう・最高神の精）と呼ばれる」とある。



有松天満社文嶺講

先人たちが残してくれた歴史的・文化的に、また美術的にも価値ある現在の布袋車大幕を重要な文化財として保存し後世に伝えていくためにも、この度の復元新調の事業に対して、深くご理解を賜りますようお願い致します。

皆々様の厚いご支援ご協力を衷心よりお願い申し上げます。